

一般職制度を導入 オリコンサル

オリエンタルコンサルタンツは、人材の確保・育成を目的に新たに一般職制度を導入した。勤務地域、職種を限定し、自己のワークライフスタイルに応じて働くことができる仕組みで、多様な働き方が選択できることによって、人材の定着・活躍と企業の発展につなげたい考えだ。

同社が実践している「情熱とやりがいプロジェクト」の一環として、制度はことし1月に導入した。同プロジェクトでは8つの経営施策を掲げており、このうち社員数の増員、就業環境の改善、人材育成の強化を目的としている。将来的な幹部候補生で、勤務地域、職種を問わず総合的

多様な働き方で人材定着

に働く総合一般職と、時期に応じて職種を選択できることが特徴。例えば総合一般職の社員が介護、出産、育児など人生のライフステージに直面した時には一般職で働き、それが終わると総合一般職に戻ることができる、自分の働き方を選ぶことができる。処遇や待遇面で、両職の間に上下関係はない。

建設コンサルタント業界は、業務量の増大による長時間労働や社員の中途退職など、人材の確保・育成が大きな課題となっている。同社では同制度を導入し、制度をさらに改善していくことによって、社員の定着と育成に努めていきたい考えだ。